

県、グッドエネジー選定

長瀬射撃場跡地 メガソーラー運営

埼玉県は長瀬射撃場のクレー射撃場跡地（埼玉県長瀬町）で大規模太陽光発電所（メガソーラー）を運営する事業者として、グッドエネジー（さいたま市）を選定した。同社が設立した特別目的会社（SPC）を通じて運営する。県は遊休地をメガソーラー用地として活用し、年間約500万円の賃料収入を得る。発電期間は20年間。

敷地面積は約1万8000平方メートル。太陽光パネル設置工事は来年6月に着手する予定で、発電開始は来年10月を計画している。発電容量は約1250キロワットで、年間発電量は一般世帯の約300戸分となる見通し。発電分は東京電力に売却する。

今年7月に企画提案方式により事業者を募集したところ、7社から提案を受けた。その中で、全国16カ所で太陽光発電施設を運営する実績などを踏まえて同社に決めた。県は行田浄水場（行田市）に約5000枚の太陽光パネルを設置し、施設内の電力として用いている。県有施設の屋根を太陽光発電設備の設置場所として貸し出す事業も始め、現在は県北部の2施設で設置済み。施設を有効活用し、太陽光発電を後押しする。